

## 【1】 成績評価と提出方法

- ① 出席点 40点 (欠席回数×4、遅刻回数×2を減点、5回以上欠席した人は0点)
- ② レポート 60点

テーマ1 アメリカ企業分析—特定のアメリカ企業・産業を選択し(関心のある企業で、10-K形式の会計報告をSECに提出し、公開している企業)、Form 10-K, Moody's Company Data および各種経済紙誌を素材として、経営戦略と将来性を日本語でレポートにまとめる。

テーマ2 IMF レポート—講義であつかったIMFの日本レポート要約の全文を読み、内容を要約し、日本の今後のあるべき経済政策について論ぜよ。検索エンジン"IMF"→IMF ホームページ→Search:"Japan"→新しい順に並んでいるので、2003年9月5日までさかのぼる。

### **Title: Japan: 2003 Article IV Consultation--Staff Report; Staff Statement; and Public Information Notice on the Executive Board Discussion**

あるいは、<http://www.imf.org/external/pubs/ft/scr/2003/cr03281.pdf>

**Electronic Access:** [Full Text in PDF format](#). (PDF file size is 2,201KB)

Use the free [Adobe Acrobat Reader](#) to view this PDF file.

**Series:** Country Report No. 03/281

**Published:** September 5, 2003

・本日配布する「経済学部科目レポート表紙」の注意事項を読んで署名し、全学共通科目のレポート表紙の2枚のレポート表紙をつけて、2004年1月13日(火)午後1時授業はじめに直接教官に提出(締め切り)、MS-Word形式、A4(40字×40行)4頁以上(表紙・図表除く)。同時に、メール送信での添付ファイルでも提出する。

- ・ レポートの評価のポイントは、適切な資料と事実に基づいているか?客観的であるか? などです。剽窃・盗用(不正行為)が確認された場合、経済学部の規定に従い処分されます。

## 【2】 レポートを書く

- ・ 形式—序論—本論—結論(introduction-body-conclusion)
- ・ 引用と出典—自分の意見と他人の意見「カット&ペースト」の問題  
剽窃・盗用を避けるという消極的な意味と、自分の見解を明確にするという積極的な意味
- ・ アウトライン  
Introduction  
Body  
I.

A

B

II

A

B

III

A

B

Conclusion

- 首尾一貫性
- 構成一時系列・論理的分割・原因結果・比較対照など